

地域おこし協力隊(古建築活用プランナー)として 4月から活動しています



古建築活用プランナー

加藤 マイケル 孝仁

(かとう・マイケル・こうにん)

1962年、カリフォルニア州ロサンゼルス生まれ。24歳の時に来日し、東京で暮らしていたが、小郡で地域おこし活動という新たな冒険をするため、現在単身赴任中。コロナ禍の今だからこそできること、今を生き自己研鑽することが目標。歴史や文化は過去を記録するだけでなく、現代の人に役立つ知恵になる原動力にしていこうと考えてプランニングを始めたばかり。

 @ogori_chiiki_okoshi_kyoryokutai

 @OgoriChiikiOkoshiKyoryokutai.culture

めざす地域おこし

コロナ禍の今こそ、地域おこし活動をしたい、と活動場所を探していました。私が求めていた自然環境とコミュニティの多様性を生かした地域おこしがないか探していたところ、小郡市を見つけ、早速応募しました。

無事にオファーをいただき、古建築活用プランナーに就任する前、小郡市の歴史遺産を下見しました。その時一目惚れした小郡の魅力、多くの人に知ってもらいたいです。



♪ビートルズ
♪サザンオールスターズ

好きな音楽

趣味

- ◆ スポーツ
- ◆ 料理
- ◆ 陶芸

小郡の魅力を伝えるために

旧薩摩街道の筑後最初の宿場町松崎宿は、多くの方が訪れています。街道沿いを約500メートル続く松崎宿には26軒の旅籠があり、毎日多くの旅人が松崎宿を訪れていました。しかし、松崎宿は長崎や薩摩、豊前・豊後の道中であり、松崎宿自体を目標とした人はとても少なかったと考えられます。

それは現代においても変わらず、高速道路や鉄道で小郡を通過していく観光客がいます。今後、もっと多くの方がゆっくり旅をし、九州の目的地に行く途中、立ち寄って一息できる小郡にできればと考えています。

旅のココロとモノを整える、そんな小郡になるよう、地域おこし協力隊の活動を進めたいです。